

## 令和8年度九州考古学会夏季大会(福岡大会)について

1. テーマ：「今、九州の弥生時代墓制を再考する：地域比較と社会変容の新展望」
2. 趣 旨：九州地方の弥生時代墓制研究においては、甕棺墓という特異な墓制に特徴付けられる北部九州を中心に、甕棺の型式編年に基づく墓地分節構造や、副葬品の偏在・多寡・内容の差異に基づく成層構造の検討から、社会の成層化過程が明らかにされてきた。こうした研究の蓄積は、墓地空間構造の精緻な分析や復元、墓地と居住集団との関係性の検討へと展開し、新たな葬送考古学の展開と社会像の提示を可能にしつつある。

さらに、調査の進展により、九州各地の埋葬形式の地域性や墓地空間構造の特異性が次第に明らかとなり、社会組織の複雑化や成層化の動態についても、地域ごとに独自の軌跡を描き出す可能性が広がっている。近年の福岡県須玖岡本遺跡、佐賀県七ヶ瀬遺跡、熊本県黒髪遺跡における新たな甕棺墓調査は、このような研究の気運をさらに高める重要な知見を提示しており、九州弥生墓制研究を改めて総合的に捉え直す契機となっている。

本大会では、a 北部九州、b 東九州、c 長崎一佐賀県、d 熊本県域一九州山地、e 南九州という地域的枠組みを設定し、それぞれの調査成果と研究状況を整理する。これにより、単なる墓制の地域差の把握にとどまらず、研究の到達点と課題を明らかにすることを目指す。

### 3. 日 程：

7月11日(土) 1日目(13:30-17:00)

---

13:00～ 受付開始

13:30～13:35 開会挨拶

#### ■ 基調報告

13:40～14:40 「弥生時代墓制研究の方法」 溝口孝司(九州大学)

14:40～14:50 休憩

#### ■ 第2部 事例報告

14:50～15:20 「須玖岡本遺跡」 井上義也(春日市教育委員会)

15:20～15:50 「七ヶ瀬遺跡」 馬場晶平(佐賀市教育委員会)

15:50～16:20 「黒髪町遺跡群」 山野ケン陽次郎(熊本大学埋蔵文化財調査センター)

### ■ 第3部 地域報告

16:20～17:00 「北部九州」上田龍児（大野城市心のふるさと館）

19:00～ 懇親会

※会場：酔灯屋 天神店（福岡市中央区天神 1-13-13 幾永ビル 2F）

7月 12 日（日） 2日目（9:30-16:00）

---

9:00～ 受付開始

9:30～10:10 「東九州」渡邊隆行（日田市教育委員会）

10:10～10:50 「長崎—佐賀県」渡部芳久（佐賀県教育委員会）

10:50～11:00 休憩

11:00～11:40 「熊本県域—九州山地」宮崎敬士（熊本県教育委員会）

11:40～12:20 「南九州」石田智子（鹿児島大学）

12:20～13:15 昼食・休憩

※会場周辺には飲食店がありません。昼食は各自ご用意ください。

### ■ 第4部 シンポジウム

13:15～15:45 「九州地方弥生墓制研究の意味・意義と未来」

15:45～16:00 閉会挨拶